

令和5年12月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和5年12月26日(火) 午後1時25分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	齋 藤 純 郎
委 員	小 林 恵 子	委 員	上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹	大 森 亨
学 校 教 育 課 長	長 和 俊	社会教育課課長補佐	古 澤 百合子
統 括 指 導 主 事	小 池 純 一		

5 本委員会書記

学校教育課 大塚小由紀 他2名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄付報告

専決処分の報告について

- 報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について
- 報告第13号 専決処分の報告について

協議題

- 協議第9号 新規共催・後援申請について

その他

(1) 令和5年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言

午後 1 時 25 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 5 年 11 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

12 月 2 日の長善館学習塾閉講式に出席した。

南魚沼市でのサバイバル宿泊体験や起業家として農福連携事業に取り組んでいる株式会社なごみの皆さんと水耕栽培などにチャレンジすることを通して 17 名の塾生の皆さんが見事に成長した姿を見せてもらった。

児童の皆さんが様々な体験を通して成長することができる長善館学習塾の素晴らしさを改めて感じ、できれば多くの児童の皆さんから参加してもらいたいと願っている。

参加者が増えることになれば予算の関係や保護者の皆さんのご協力、スタッフの確保など、難しい課題も生じるが、工夫しながら今後も事業を継続してもらいたいと思う。

新年度は、児童と保護者の皆さんへの周知に一層力を入れていただき、参加者が増えることを期待している。

○委員（小林 恵子）

12 月 9 日の燕キャプテンミーティングに出席した。

講師の知野さんと島田さんのお話は大人が聞いていても有意義なお話で、とてもためになった。また、コーディネーターの方も上手に話を引き出してくださり、子どもたちとのつなぎ役を非常に上手にやっていただいたと思う。

一方で保護者の参加が少なく感じた。とても良い会だったので、次の機会ではもっと多くの保護者に聞いていただけるようアピールしてほしい。

○教育長（小林 靖直）

燕キャプテンミーティングについて、補足させていただく。

資料 3 ページでは、コーディネーターは森下英矢さんとなっているが、当日は急遽、高橋なんぐさん（ナマラエンターテイメント）にお越しいただいた。

また、今回はそもそも保護者への案内をしていなかった。小林委員のおっしゃるように、来年度は保護者の参加について検討してみたい。

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

① はじめに

- 2学期をまとめる「学校だより」が続々と届いている。文面から、どの学校においても充実した教育活動が展開されてきたことが伺える。読み進めていくと、子どもたちと教職員のみなさんの笑顔が自然と思ひ浮かぶ。

② 11、12月（11月第3週～12月第3週）の主な行事から

1) 吉田高校・分水高校合同学校説明会（つばめホール）【11月12日（日）】

高校受験をひかえた受験生や保護者向けに、学校説明会を行った。生徒たち自身による学校説明プレゼンのクオリティが高く、頼もしさを感じた。

2) 中学校芸術鑑賞会「家族草子」（文化会館）【11月15日（水）】

家族の愛情の大切さ・絆をテーマにした朗読劇を鑑賞した。中学生という感受性豊かな時期に観る価値のある、たいへん素晴らしい朗読劇だった。

3) ゆめみらいスポーツ教室・陸上（分水総合体育館）【11月18日（土）19日（日）】

ミズノトラッククラブのオリンピックを迎えて、小中学生を対象に陸上競技の実技指導をしていただいた。技術指導はもとより、世界で活躍するトップアスリートの人柄等からもたくさんのお話を学んだ。

4) 市民茶会（中央公民館）【11月19日（日）】

第14回燕市民茶会に参加した。第一席が宗徧流の佐藤宗和先生、第二席が、煎茶道東阿部流の更科翠游先生。心落ち着く時間を過ごすことができた。

5) 長善館学習塾閉講式（101～103会議室）【12月2日（土）】

今年度の塾生17名に修了証を授与する閉講式を行った。様々な活動、体験を通して、グンと成長した塾生のみなさん。一人一人のスピーチもたいへん素晴らしい内容だった。

6) 燕ジュニア検定表彰式（101～103会議室）【12月9日（土）】

読解力向上の研究で著名な新井紀子先生から、直接ご講義・ご指導いただいた。具体的に的確なご指摘、ご助言を学校現場で活かしていく。

7) 燕キャプテンミーティング（吉田産業会館）【12月9日（土）】

燕市子育てサポーター島田譲選手（アルビレックス新潟）と車いすバスケットボール知野光希選手（新潟WBC）のお二人を講師に、「リーダーとしての心構え、よりよいチームづくり」というテーマで開催した。生徒会や学校行事、部活動などの活動に大いに生かしてほしいと思う。

8) ゆめみらいスポーツ教室・水泳（ビジョンよしだ）【12月10日（日）】

オリンピックで世界選手権メダリストの渡辺一平選手（平泳ぎ）を迎えて、小中学生を対象に水泳競技の実技指導をしていただいた。オリンピックの泳ぎを間近で目にし、子どもたちの瞳も輝いていた。

③ 結びに

- 来年度の構想を練っているところである。学校や社会教育施設等で行われるすべての教育活動が「子どもたちや市民のみなさんにとってどうか」「子どもたちや市民のみなさんのためになるのか」の文脈の中で練り上げていく。

(3) 寄附報告

2件の寄附について

〈No. 1、2について長学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第12号 専決処分の報告について

3件の共催・後援申請について

〈No. 1について古澤社会教育課課長補佐が説明〉

〈No. 2、3について長学校教育課長が説明〉

報告第13号 専決処分の報告について

〈古澤社会教育課課長補佐が説明〉

5 協議題

協議第9号 新規共催・後援申請について

1件の後援申請について

〈No. 1について長学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく協議第9号は承認された。

6 その他

(1) 令和5年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

〈岡部教育次長が説明〉

○委員（中野 信男）

斎藤議員への答弁（２－(1)）にある「レジリエンス」について、色々な方々が心配されているように、日本では子どもたちをととても大事に育てている反面、嫌なことがあったときや社会に出たとき、日本だけでなく海外と接しなければいけないときにレジリエンスの能力をきちんと持っていないと、か弱い日本になってしまうと思う。先生方はレジリエンス教育についてよく認識されていると思うが、レジリエンスの重要性については、教育委員会が言い続けていく必要があると感じる。

文科省の出す方針に加え、燕市式でレジリエンス能力をつけていくことを意識していただきたい。

○教育長（小林 靖直）

例えば燕市の事業においては、長善館学習塾などもレジリエンスを高められる事業ではないかと思う。今後も念頭に入れながら事業を展開していきたい。

全体を通して他に質問等はあるか。

○委員（中野 信男）

12月24日に教育委員会で後援した「Artistic LIVE III」が開催され、参加した。3回目の開催ということもあり、回を重ねるごとにすごく上手になっていると感じた。特に和太鼓や和楽器の演奏にはとても感動させられた。

7 閉 会 午後2時08分

燕市教育委員会会議規則(平成18年燕市教育委員会規則第2号)第17条第2項の規定により会議録に署名する。

令和 6年 1月 26日

教 育 長 小林靖直

教 育 委 員 中野信男

教 育 委 員 秦久美子

教 育 委 員 斎藤純郎

教 育 委 員 小林恵子

教 育 委 員 上田佳澄

会議録作成職員 斎藤千華